

「鶴見区将来ビジョン(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【地域保健福祉部会】

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
1	綿世委員	(第3回) —	【SDGsの推進について】 SDGsには17つの目標があるが、その17つの目標すべてに繋がる取組を行う必要はないのか。	・ 実効性ある進め方として、当面は既存事業の取組みを推進することによって、17のうちの特定の目標に係るSDGsの達成をめざすとともに、区民へのSDGs浸透を図るための周知・啓発活動に注力してまいります。 ・ その結果として、あらゆるステークホルダーに認知され、自分事化(周りで起こっている事象に対して、自分の問題として捉え、考えて、行動すること)していただけるようになることが、17すべての目標に繋がるものと考えています。	政策推進
2	綿世委員	(第3回) 23	【町会への加入について】 ・「施策展開の方向性」にある「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」の構築には地域活動協議会の参画が不可欠であり、そのためには減少傾向にある地域振興町会加入者を増やす対策が必要である。 ・当該課題に対する区役所の協力がより一層求められる。	・ ご指摘のとおり、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」における施策の推進には、地域活動協議会の協力は必要不可欠と考えています。 ・ また、地域活動協議会の中心的な役割を担っているのは、連合振興町会であると認識しており、地域振興町会をはじめとする自治会・町内会の皆様には、地域住民による地域福祉の向上や防災・防犯の取組、人と人をつなぐコミュニティづくりに取り組みまれており、自治会・町内会の果たす役割は非常に重要であると考えています。 ・ この間、区役所では町会加入促進支援の取組みとして、「広報つるみ」での周知や町会加入促進リーフレットを作成したうえで、区役所での転入手続きの際に案内するとともに、区内の不動産事業者へも順次協力を呼びかけ、不動産契約時に同リーフレットを配付いただいています。 ・ 引き続き、加入につながるよう働きかけを進め、地域コミュニティの活性化を図っていきます。	市民協働

「鶴見区将来ビジョン(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【地域保健福祉部会】

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
3	綿世委員	(第3回) 24	【避難所開設運営訓練について】 防災意識の向上には、より一層の訓練が必要であることから、区内小学校・中学校を活用した区全体の避難所開設運営訓練の実施を検討いただきたい。	- 令和4年度に開催した地域防災連絡会において、中学校を活用した訓練等について協議したところ、地域の体制や地域と各中学校との関係もあり、一律に区の取扱いを決めることは困難との判断に至りました。 - まずは各中学校ごとに詳細を決めたうえで、中学校での避難所開設運営訓練の実施について、関係地域あて提案したいと考えています。 - また、ご提案いただいた鶴見区全体での避難所開設訓練は、発災時の実情に即した訓練であると考えていますが、行動制限緩和後の状況を勘案しながら、時機をみて地域防災連絡会等へ意見を求めていきたいと考えています。	市民協働

「鶴見区将来ビジョン(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【こども教育部会】

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
1	江口委員	(第2回) 10	【評価に対する改善内容について】 この5年間(2018～2022)の振り返りについては、PDCAサイクルにおける「C(評価)」に該当する内容かと思われるが、その「C(評価)」に対する「A(改善)」やその先の「P(計画)」へのサイクル上の繋がりが不十分であることから、見せ方などに工夫が必要である。	ご指摘のとおり、サイクル上の繋がりが不十分であったため、「この5年間の振り返り(まとめ)」の内容と「今後5年間に向けての基本的な考え方」の内容に修正を加え、それらが連動する内容となるように工夫しました。	政策推進
2	梶委員	(第2回) —	【委員に意見を求める視点について】 将来ビジョンは、今後の取組みを行う上での大きな枠組みであることは理解できるが、どういった視点にて意見等すればよいのか。	将来ビジョンは5年間の中期計画として、地域としての区のめざすべき将来像や将来像の実現に向けた政策展開の方向性等をとりまとめることを主眼としております。取組レベルではなく、その上位概念である施策やそれを包含する施策展開の方向性等に関して、大所高所の視点にてご意見をいただければと考えています。	政策推進
3	梶委員	(第2回) 12～17	【統計データについて】 鶴見区の概要として、特徴的な統計データを掲載されているが、そういった特性や課題などが将来ビジョンの各項目へ具体的に反映されていないように思われる。	鶴見区の概要では、課題分析の前提として、まずは区の現状や特性を示す必要から人口などの基礎的な統計データを掲載しています。課題などについては、施策や事業を担う担当部署にて個別に設定することとしています。	政策推進

「鶴見区将来ビジョン(素案)及び(案)」にかかる意見とその対応等について

【こども教育部会】

NO	委員名	(回次) 頁	意見	対応や考え方等	担当
4	段野委員	(第2回) 12～17	【統計データについて】 統計データでは、24区の中でも最も高い又は多いといった項目を掲載しているが、いずれも相対的に良好な結果ばかりである。24区と比べて劣っている項目を掲載したうえで、改善に向けた目標を設定してはどうか。	- 区の状況や特性を示すために令和2年国勢調査から特徴的な統計データを掲載しています。順位付けを機械的に行っていますが、たまたまご指摘の相対的に良好な感が出ているかもしれません。 24区と比べて相対的に優劣を付けるのが目的ではなく、あくまで当区の状況や特性を示す例として用いています。課題を抽出したうえで、解消に向けた各種取組みを進めていくのは当然のことと考えています。	政策推進